

会 議 議 事 録

1 会議名	令和元年度長岡市市民協働推進審議会
2 開催日時	令和2年2月17日（月曜日） 午後3時30分から午後5時まで
3 開催場所	シティホールプラザアオーレ長岡 西棟3階 第1・2協働ルーム
4 出席者名	(委員) 板垣委員 恩田委員 上村委員 佐竹委員 田中委員 山村委員 渡辺委員 (事務局) 市民協働推進部 竹内部長 川合市民協働課長 五十嵐市民協働課長補佐 勝沼係長 小林係長 嶋谷係長 安達主査 半間主事 海津主事
5 欠席者名	土田委員 星野委員 綿貫委員
6 議題	(1) 正副会長の選任について (2) 長岡市市民協働条例の理念に沿ったこれまでの取り組みについて (3) 市民活動団体アンケートの結果と分析について (4) 長岡市の協働が目指すビジョンとこれからの取り組みの方向性について
7 審議結果の概要	・議題(1)について、正副会長が委員の互選により選任された。 ・議題(2)～(4)について、事務局より説明があり、委員による意見交換が行われた。
8 審議の内容	<p>1 開会 (市民協働推進部長あいさつ) (自己紹介)</p> <p>2 議事 (1) 正副会長の選任について 委員の互選により会長に上村委員、副会長に田中委員を選出。</p>

事務局	<p>ありがとうございました。以後の進行については、審議会規則の規定により、会長からお願いします。</p>
会長	<p>それでは議事の（２）長岡市市民協働条例の理念に沿ったこれまでの取り組みについてと議事の（３）市民活動団体アンケートの結果と分析についてを一括して事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（資料１、２に基づき説明）</p>
会長	<p>ありがとうございました。ご質問、ご意見がありましたら、お願いします。（特になし）</p> <p>資料１、２は今後の方針を審議するための基礎データとなります。アンケートは丁寧に聞いていて、詳しく読むと色々見えてきます。協働センターの頑張りも書いてありますね。ぜひまたご覧いただいでご活用ください。</p> <p>それでは議事の（４）長岡市の協働が目指すビジョンとこれからの取り組みの方向性について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（資料３に基づき説明）</p>
会長	<p>ありがとうございました。先ほどの資料１と２を踏まえた形で、次のステージに向かう上での次なるビジョンということでこの１枚の資料になります。審議会としてはこの１枚が今後の市民協働に関して非常に重要な位置づけになりますので、皆さんからしっかりご議論いただき忌憚のないご意見をいただきたいと思います。</p>
委員	<p>ビジョンの図の５色の分野は、NPO法人の活動の分野を参考にしているのかお聞かせください。</p>
市民協働課長	<p>SDGsを参考にしましたが、SDGsは分野が細かいので、それよりも大きな括りの方が参加する主体も考えやすいということでこの括りとしました。</p>
委員	<p>分野のうちの「環境」のところに「持続可能な消費と生産」とありますが、これは一般的には「経済」寄りの感じがしますがあえてこれを「環境」の枠に入れた背景があればお聞かせください。</p>

市民協働課長	<p>こちらSDGsを参考にしました。委員のおっしゃるどおり「環境」といえば「自然保護」がメインになるかと思いますが、多方面で環境の部分に考えられるものを入れ込みました。</p>
会長	<p>この図がこれから色々な場面で使われることを考えると、下に書いてある言葉を見て自分たちの活動とリンクしたり、次なる活動のヒントを得られるようなキーワードが散りばめられているといいですね。これまで長岡で行われた環境に関わる市民活動を見てみるとキーワードが拾えると思うので、いい言葉を入れてください。</p>
委員	<p>ビジョンの中の「つながり合う」は、これまで既に協働センターでも意識して広めてきたと思いますので、もうちょっと先のビジョンを見てもいいのかなと思います。</p>
会長	<p>つながり合ってその先に何があるのかというものは確かに欲しいですね。「補い合う」というのは、行政の縦割りの隙間とか手が届かないとか、色々な社会課題に気が付いて主体的に行動を起こした市民の力も借りてやろうという意味での「補い合い」と書いていると思いますが、その文脈よりもつながり合って〇〇を目指すの方がいいかと。「つながり」が「はぐくむ」「豊かな」「暮らし」一つ一つ見ていくとどれも大事で非常にいい言葉を組み合わせていますね。</p> <p>それと行政的には勇気を持って持ち込んだ言葉が「共創」だと思います。多様な主体が共に創る、これが創造の「創」なので、目の前の課題を潰していくというよりはそれを突き抜けた新しいアイデアで勇気を持って一歩踏み出す人たちを応援しようという想いを込めた言葉なのではないかと解釈しています。なのでこの共創していくという部分が、今回のビジョンの目玉になるのかなと、「つながり合い」で「共に創る未来へ」みたいなニュアンスになるのかなと思っていました。</p>
市民協働課長	<p>「共創」の言葉は一緒になって突き抜けたというよりは、一緒になって何か創り上げる、無から有を生み出すような感じがあるかなと感じています。スタッフも色々考え意見を出し合いながら入れましたが、欠けている部分も多々ありますので、委員の皆さまからご指摘いただき、ブラッシュアップさせて完成させたいと思います。</p>
会長	<p>その辺りも踏まえて補助金の名称も未来を創るというふうにアップデートしたのですかね。それなら副題の「補い合うからつながり合</p>

委員	<p>う」のところにこの「共に未来を創る」のニュアンスを入れた方がきれいになりますね。</p> <p>長岡市の協働が目指すビジョンは、今までなかったのでしょうか。方向性も、今回皆さんの意見を集約して新たに作るのか、それとも前にあったものを見直して作り直すのかをお聞きしたいです。</p> <p>それから個々の会社や経営者は色々な市民団体と関わりが深いと思うんですが、経済団体は日常的にはあまり接触がないんですよね。ビジョンの中で「経済」もつながり合うの中に入っているの、何か貢献できるものがあればぜひ協力させていただきたいです。この中に何か具体的なものや動きやすいような書き方をしてもらおうと非常にありがたいし、取り組みやすいと思います。</p>
会長	<p>一点目は前にビジョンがあったのかなかったのかと、それに対して今回どうなっているのかという質問ですがいかがですか。</p>
市民協働推進部長	<p>当初は市民協働条例を作った時の趣旨や目的をどのように実現するかということで、ビジョンという意味ではそこがずっと引き継がれてきています。8年経つのでやはりそろそろステップアップするにあたっては皆が共通で持てるイメージを作る必要があるかと。平成12年ころの市民センターができたあたりから長岡市はずっと市民と一緒にというスタンスでやってきて、市民の皆さんの活動を盛んにしていただいて、そこからまちづくりをさらに進めていこうというのが当初の目的だったと思っています。SDGsを参考にしながら職員は一生懸命考えましたが、皆様からご意見をいただいて完璧なものにしたいと考えています。</p> <p>経済の部分に関しては、委員のおっしゃるとおりもっと商工会議所や企業の皆さんが協働センターを通じて協力いただきやすくなる言葉や体制を考えて入れ込みたいと思います。地域貢献、社会貢献が企業の利益に結び付く時代が来てもらいたいと考えていますし、そのためにどう協働していくべきかをこのビジョンの中に取り込めるよう、考えさせていただきます。</p>
委員	<p>ビジョンの中の「幸福感」という言葉ですが、例えば環境が良くなれば幸福だし健康や貧困が改善されれば幸福だし経済も伸びていれば幸福だし安全安心も当たり前の幸福だしという形で、全部が結果的には幸福感という想いにつながるのではないかと思いました。楽しみとかいきいきとかそういうことで幸福感とまとめるには違和感があ</p>

<p>会長</p>	<p>ります。</p> <p>ビジョンがもともとなかったのかという問いに対しては、市民協働条例の基本理念にあるとおり市民と市は協働のまちづくりを推進することにより将来にわたり市民のさらなる幸せな生活の実現を目指す、これがもともとのビジョンなんですよね。今回掲げたのはこれにより現代的な状況とか環境とか市民協働の実情を踏まえたうえで、より具体的なこれから5年10年位のビジョンを作ったという理解でいいですよ。</p> <p>図の中の幸福感はそういう意味で言うと、このビジョンと書いた丸の中に書くべきものであって条件のように入っているのが不思議な感じがするんですよ。だからここは幸福感ではない何かを入れなくてはいけないんでしょうね。今日の議論の中でそのキーワードやヒントが出てくると思いますので、上手く取り込んで修正をお願いします。</p> <p>経済界が市民活動にどう関わっていくかについては、1点目として市民活動ってNPOと紐づけられがちなんですがノンプロフィットである必然性は無くて、行政も市民活動を入り口として社会課題の認識を深めたり広めたりできるし、産業界も新しいビジネスの入り口と見られることもできると思います。もう1点目は企業側もCSRやCSVなど色々な形で世の中の役割を担いたいという動きがある中で、うまく事業者とのマッチングをしたり、事業者が公益性のある取り組みを提案したりしてくれる、という言葉をごどこかに入れてほしいです。</p>
<p>委員</p>	<p>仕事をする上で地域とのつながりはなくてはならないものなので、もう少し関係がありますよ、というニュアンスを入れてもらうと有難いです。</p>
<p>会長</p>	<p>ここを入り口にして経済活動につながっていく道もありですよ、それから市民活動に対して経済分野の人たちとマッチングしながらやっていくのもありますよと。</p>
<p>委員</p>	<p>協働マッチングリストの提案の一つとして、商工会議所さんとかJCさんとかロータリーさんとか各種団体さんをお願いして「ソリューションカタログ」を作ってもらうのはいかがでしょうか。市民活動団体さんも頼みやすくなるし、企業とのマッチングにつながると思います。</p> <p>それから「経済」のところの「持続可能な都市」という言葉が後ろ</p>

<p>会長</p>	<p>向きな感じがして少し心配です。</p> <p>インフラも市民に関わってもらいながら上手に運用していこうというようにいい表現があるといいですね。例えば長岡でいうと流雪溝は官民協働の仕組みですよね、インフラは行政が作り運用は住民がやるという。その意味で「持続可能な都市」という表記なのでしょうけど、「市民と関わってまちを作り、市民が自分のものとして上手に守っていく」ようなニュアンスですよね。</p>
<p>委員</p>	<p>事業者としては、やはり営利に結び付かないとボランティアでも何でもかんでも出せる時代ではないですから、こういう関わりであればさらに一体感が出るねとかこういう時に助け合いができるねとか具体的にみんなでこういう風に参加しようと思いを抱ける形で出してもらえると有難いです。</p>
<p>会長</p>	<p>貢献の仕方って、お金だけではないんですよね、地域活動に社員さんを出してもらおうのもありだし、その中で企業側もビジネスのヒントが見えることがあるかもしれないし、いい協力関係ができていくといいですよ。</p>
<p>委員</p>	<p>この中にある「ふるさと長岡」って大きな意味を持つ言葉で、郷土愛をどう醸成していくかと。例えば「経済」で言えば地元の企業は郷土愛がありますから、地域を良くしたいという視点で頑張っていると思うんです。「ふるさと長岡」を「共創する」という視点で全部がリンクするような表現に組み直してもらおうといいのかなと。</p>
<p>会長</p>	<p>このビジョンはこれから繰り返し使われるものになるでしょうから、折に触れて「ふるさと長岡とは」「共創するとは」何か、それが具体的な施策に反映されているかを問われることになりますから、ビジョンの図にはそうしたキーワードを散りばめた方がいいのではないのでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>「イノベーション」という言葉が今「経済」の下にありますけど、経済だけに関わらず色々な意味でのイノベーションは全部にかかるのではないかと思いますので、この言葉をここに入れる必要はないのかなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ただ、社会課題に向き合う中での起業という意味であれば「イノベ</p>

委員	<p>ーション」も入れたい気はしますが。できればCSRとかCSVのニュアンスも入れてもらいたいですね。</p> <p>米百俵プレイスの整備にも関わっていますが、「つながりがはぐくむ豊かな暮らし」は、産業支援拠点の目的にも行きつくところですね。こちらは4大学1高専の皆さんと新しい産業を興すとか、事業を立ち上げる人を創るという役割なので、市民協働の部分での経済の関わりを上手く表現してもらえるとよいと思います。</p>
会長	<p>いい世の中を作りたいという大きな目的は、産業振興も市民協働も同じで、途中の手段とゴールがちよっと違うだけなんですよね。今の日本の産業構造はサービス業が強くなっていて、その背景には社会課題の解決の為に昔以上に必要になってきているということなどを考えると、市民活動で見えてくる社会課題に実はビジネスのヒントが山ほどあります。産業界の拠点と市民協働がリンクして、そこにマッチングがあってもいいですよ。</p>
委員	<p>利益とか商売とかの観点よりも、お互いが求め合っているものが一致するような、そういう場があると大きいですよ。</p>
会長	<p>企業が商売として成り立つかという視点で見た時に、それは社会ニーズが大きいから長岡で起業してどんどん展開して、いい産業に育っていくといいですよ。その入り口としてみると、マッチングリストの所の「各方面」という表現を具体的にどこどこをつなぐか見えやすくした方が、次のビジョンとしてはクリアになるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>「定年後の豊かな時間を」というところで、ターゲットとしてはいいと思うんですけど、同時に未来を担う若い人たちにも機会提供するというニュアンスもほしいですよ。</p>
会長	<p>シニア層の活躍はもちろん期待するところですけど、そこだけでなくスタートアップの事業数をとにかく増やしたいから、新しいことに挑戦する人を積極的に応援しますみたいな文言が入れられるといいですね。マッチングリストにしても市民活動フェスタにしても、全体にかかるような形で入れられるといいのでは。</p>
委員	<p>新しい補助金制度の100万円枠のところ、高い公益性の一つに</p>

市民協働課長	<p>市民団体と企業が協働して取り組む事業なども意識しているかお聞かせいただけますか。</p> <p>高い公益性のイメージとしては広く訴求性がある、色々影響を及ぼせる事業というような概念的な考えで、具体的に企業と協働というところまでは今はないです。</p>
委員	<p>訴求性を高めるために市民や団体が結び付くことは重要と感じていますので、この補助制度にそういう文言が入っていると応募する人もわかりやすくなると思います。団体が積極的に新しい取り組みをするときには、他に似たようなことをやっているあるいは自分達には足りないことをやっている団体さんや企業さんにつながっていけるといいなと感じています。</p>
会長	<p>そうすると、公益性と継続性というよりは公益性と訴求効果とか波及効果が高いものということで、「継続性」は取った方がいいでしょうかね。違った意味を与えてしまう可能性もありますし。今指摘いただいたようなニュアンスの表現をお願いします。</p> <p>このビジョンがこれからの長岡市の施策の中で非常に重要な意味をなすということでもかなり時間を使って審議させていただきました。審議会の皆さんのご意見として、修正すべき場所はある程度クリアになったと思います。これから事務局で修正をしていただきますが、どう反映させたかについてはどのように確認いただけますでしょうか。</p>
市民協働課長	<p>どのようにするかを含めて、改めて皆さんに確認させていただきたいと思います。</p>
会長	<p>わかりました。どう修正するか委員の皆さんにフィードバックし、ゴーサインをいただいたうえで確定をさせるということでお願いします。本当に沢山いいご意見をいただいてありがとうございます。では、以上で議事を終了します。以後の進行は、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上で、令和元年度長岡市市民協働推進審議会を終了します。</p> <p>(閉 会)</p>

(出席委員の署名欄) 省略

9 会議資料

- ・資料1 長岡市市民協働条例の理念に沿ったこれまでの取り組み
- ・資料2 ながおか市民協働センターの利用等に関するアンケート
- ・資料3 長岡市の協働が目指すビジョンとこれからの取り組みの方向性について